

6-8 建築デザイン学科

Department of Architectural Design

建築学部 建築デザイン学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、建築デザイン学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(工学)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図表を用いたコミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～R

I キャリアデザイン能力 J 建築デザインの基礎となる建築学全般の基礎的能力 K 建築図面・文章等の基礎的表現能力 L 建築設計・計画に関わる能力
M 都市デザイン・まちづくりに関わる能力 N 建建築生産に関わる能力 O 建築・都市の環境・設備・GXに関わる基礎的能力 P 建築構造に関わる基礎的能力
Q 建築デザインの DX に関わる能力 R 分析・考察・提案能力

教育目標

建築のデザイン分野において、建築や都市の美しさや機能性の観点から、建築・都市の計画・実現能力を習得させることとする。具体的には、建築・住宅・インテリアからまちづくり・都市レベルに至る人間環境を計画・設計できる専門知識・技術を身につけた人材を主として養成する。さらには、ライフスタイルの多様化、伝統文化の活用、社会のデジタル化などに対応した次世代の建築デザインに関する知識・技術を修得し、持続可能な社会と環境を構築し運営できる人材を育成する。

課程区分	科目区分	科目群	1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		卒業に必要な最低単位数		
			1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究
修学基礎教育課程	修学基礎科目	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②							4	—	—
	人間形成基礎科目	人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1 ▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ①	※1	▶ 科学技術者倫理 ②	※1			7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①							2	—	—
		人間と自然	▶ 人間と自然								合格が 卒業要件	—	—
英語教育課程	英語科目	英 語	□ イングリッシュベーシックス ② □ イングリッシュピックス 1 ② □ イングリッシュピックス 3 ② □ イングリッシュピックス 5 ②	□ イングリッシュピックス 2 ② □ イングリッシュピックス 4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング 1 ② □ ライティングベーシックス ② □ S T E Mイングリッシュ ② ※1 □ T O E I C初級 ② □ T O E I C中級 ② □ インテンシブイングリッシュ ②	□ イングリッシュピックス 3 ② □ イングリッシュピックス 5 ② □ アカデミックリーディング 2 ② □ アカデミックプレゼンテーション ② □ イングリッシュセミナー ②	□ イングリッシュピックス 4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング 1 ② □ ライティングベーシックス ② □ S T E Mイングリッシュ ② ※1				—	8	※3	
	数理・D S・A I教育課程	数理基礎科目	▶ 技術者のための数理Ⅰ ② ▶ 技術者のための数理Ⅱ ②	▶ 線形代数学 ② ▶ AⅠ基礎 ① ▶ データサイエンス基礎Ⅰ ① □ データサイエンス物理 ② □ アドバンスト数理 A ②	▶ データサイエンス基礎Ⅱ ① □ アドバンスト数理 B ② □ 技術者のための統計 ② □ 技術者のための数理Ⅲ ②	※1				9	2		
P D基礎教育課程	基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門① ▶ データサイエンス入門①	▶ プロジェクトデザインⅠ ②	▶ プロジェクトデザインⅡ ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②					10	—	—
			一部科目の記載はp.091参照										
専門教育課程	専門科目	専門科目	▶ 建築基礎製図 ② ▶ 建築の計画とデザイン ② ▶ 建築環境学Ⅰ ② ▶ 建築構造のデザイン ②	▶ 日本建築史 ② ▶ 建築構造力学Ⅰ ② ■ 建築デザイン基礎 ② □ 建築設備総論 ②	▶ 建築デザイン演習Ⅰ ④ ▶ 西洋建築史 ② ▶ 建築構法計画 ② ▶ 建築環境学Ⅱ ② ▶ 建築構造力学Ⅱ ② ▶ 建築キャリアデザイン ①	▶ 建築デザイン演習Ⅱ ④ ▶ 建築計画 ② ▶ 建築デザイン情報演習Ⅰ ② ▶ 建築材料 ② ▶ 建築設備学 ② ▶ 建築構造計画 ②	▶ 建築デザイン総合演習 A ③ ▶ 建築施工 ② ■ 建築デザイン論 ② ■ 都市デザイン ② ■ 建築デザイン情報演習Ⅱ ② □ 建築環境学Ⅲ ② □ 建築環境設計Ⅰ ② □ 鉄筋コンクリート構造 ② □ 鉄骨構造 ②	▶ 建築デザイン総合演習 B ③ ▶ 建築法規 ② ■ 現代建築論 ② ■ 建築再生論 ② ■ 都市・まちづくり ② ■ サステナブル都市・建築 ② □ 建築環境設計Ⅱ ② □ 建築構造設計 ②			60	※3	
		専門プロジェクト科目					▶ イノベーション基礎 ① ▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザインⅢ ⑧		10	—		
		その他				□ 進路セミナーⅠ ①	□ 進路セミナーⅡ ①	※1			—	—	
全課程から提供	リベラルアーツ系科目		科目の記載はp.173-174参照							—	12	※2	

▶ 必修科目 ■ 選択必修(5科目を選択して必修とする) □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

合計

124

詳細は次ページへ

建築デザイン学科 [専門教育課程]

キーワード

建築設計

建築歴史・意匠

都市デザイン・まちづくり

建築計画

建築情報

建築生産・再生

学ぶ領域

①建築設計

使いやすく美しい建築を実現するために、建築空間の機能・構成・意匠等を理解し、自らの感性を活かした建築を設計する。

②建築歴史・意匠

建築の計画や意匠における歴史的価値とその背景を理解し、建築物の文化的な評価と継承に取り組むための知識や手法を学ぶ。

③都市デザイン・まちづくり

都市や地域の役割や特性について、歴史的な背景を含めて理解し、都市デザイン・まちづくりの構想や計画を立案する。

④建築計画

建築計画に関する知識や手法を学び、機能性や快適性を備えた空間づくり、社会や地域のニーズに応える建築のあり方について学習する。

⑤建築情報

建築・都市の計画・設計に必要な情報技術やその活用方法を理解し、目的に応じた建築情報環境を構築し、実践的に応用できる。

⑥建築生産・再生

建築生産を支える組織や建築法規を理解し、持続可能な建築づくりを学ぶ。

ディプロマ・ポリシー(DP)

キャリアデザイン能力(I)

建築関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。

建築デザインの基礎となる建築学全般の基礎的能力(J)

建築デザインの基礎として求められる、使いやすさや美しさにかかわる建築計画、安全性にかかわる建築構造、快適さや健康にかかわる建築環境の三つの領域を主に学ぶことにより、建築デザインの基礎となる建築学に対する理解を深めることができる。

建築図面・文章等の基礎的表現能力(K)

建築計画・建築構造・建築環境などで学んだ、建築や地域に求められる基本的な内容を、図面や文章等を使って的確に表現することができる。

建築設計・計画に関わる能力(L)

建築空間の用途に応じた計画・構成・意匠を理解することができる。さらに、建築や都市空間を調査・分析・評価する能力を養い、建築の歴史および最先端の動向を踏まえた機能的で美しい建築を設計することができる。

都市デザイン・まちづくりに関わる能力(M)

都市や地域を形成する建築単体やその集合体としての建築群の役割や特性を、歴史的な変遷を含めて理解することができる。また、建築・都市を調査・分析し、都市デザインやまちづくりを構想・計画する手法を理解し実践することができる。

建築生産に関わる能力(N)

建築構法および材料の特性を理解することができ、安全で快適な建築空間を実現するために合理的な施工方法やそれに関わる各種法令について理解し、持続可能な建築の計画・設計を行うことができる。

建築・都市の環境・設備・GXに関わる基礎的能力(O)

快適で健康的な建築を実現するために、建築の内外に形成される環境と人間との関係性を理解することができる。建築・都市における環境問題への対応をGX(グリーントランスフォーメーション)として捉え、その考え方を理解することができる。

建築構造に関わる基礎的能力(P)

建築を支える構造の特徴を力学的観点から理解することができ、安全な建築を実現するために構造種別に対応した設計の基礎的な考え方を理解することができる。

建築デザインのDXに関わる能力(Q)

建築デザイン分野における活動特性を踏まえた情報技術のかたちや活用方法を理解することができる。また、目的に応じた建築情報環境を構築し、設計・分析・コミュニケーション・ものづくり等に応用できる。

分析・考察・提案能力(R)

建築の基礎から応用までの学習過程で得られた知識・技術を確認し、それらを用いて問題を発見し、解決することができる。

1年次

1期 前学期

2期 後学期

2年次

3期 前学期

4期 後学期

3年次

5期 前学期

6期 後学期

4年次

7期 前学期

8期 後学期

▶ 建築キャリアデザイン①

□ 進路セミナーⅠ ①

□ 進路セミナーⅡ ①

▶ 建築の計画とデザイン ②

▶ 建築環境学Ⅰ ②

▶ 建築構造のデザイン②

▶ 建築基礎製図 ②

■ 建築デザイン基礎 ②

▶ 建築デザイン演習Ⅰ④

▶ 建築デザイン演習Ⅱ④

■ 建築デザイン論 ②

■ 現代建築論 ②

▶ 建築計画 ②

■ 建築再生論 ②

▶ 西洋建築史 ②

■ 都市デザイン ②

■ 都市・まちづくり ②

▶ 建築構法計画 ②

▶ 建築材料 ②

▶ 建築施工 ②

▶ 建築法規 ②

▶ プロジェクトデザインⅢ ⑧

□ 建築設備総論 ②

▶ 建築環境学Ⅱ ②

▶ 建築設備学 ②

□ 建築環境学Ⅲ ②

■ サステナブル都市・建築 ②

□ 建築環境設計Ⅰ ②

□ 建築環境設計Ⅱ ②

▶ 建築構造力学Ⅰ ②

▶ 建築構造力学Ⅱ ②

▶ 建築構造計画 ②

□ 鉄筋コンクリート構造 ②

□ 建築構造設計 ②

□ 鉄骨構造 ②

▶ 建築デザイン情報演習Ⅰ②

■ 建築デザイン情報演習Ⅱ②

▶ 建築デザイン総合演習A③

▶ 建築デザイン総合演習B③

▶ イノベーション基礎①

▶ 専門ゼミ ①

▶ 必修科目 □ 選択必修(5科目を選択して必修とする) □ 選択科目 ○付数字は単位数を表す